



松山城



御亭山の尾根続きを遮断する大きな横堀

所在地：石川県加賀市松山町

立地：丘陵頂部、標高55m

城主：越前朝倉氏、徳山則秀（佐久間盛政配下）、
坪坂新五郎・徳田小次郎（一向一揆）、前田利長

時期：戦国

見学時間（参考）：約90分

通称城山と呼ばれる江沼盆地の東端部に位置する丘陵に、大山、御亭山と呼ぶ独立した城郭施設が構築される典型的な一城別郭の城である。最高所を主郭とする大山の北・東尾根に松山古墳群の起伏が見られる。



御亭山登城口
松山町町民会館前から

永禄10年（1567）将軍足利義昭の仲介により加賀一向一揆と越前朝倉氏が和睦する条件として、一揆方は柏野城と松山城、朝倉方は黒谷城・日谷城・大聖寺城を破却している。この時点では一揆方の城となっているが、縄張りには朝倉氏城郭の特徴が見られる。天正3年（1575）織田信長軍が加賀に進攻する。故墟考はこの頃佐久間盛政の部将徳山五兵衛則秀が在城したと伝える。天正8年金沢御堂が陥落すると、松山城には一揆方の坪坂新五郎・徳田小次郎が立て籠ったが、織田方の柴田勝家の謀略により殺害され、坪坂ら19将の首は安土に送られている。慶長5年（1600）には大聖寺城を攻める前に前田利長が布陣し、大聖寺城主山口宗永に降伏を勧めた。利長が本陣とした場所は大山と御亭山の間にある広い曲輪で、通称ダイジンノといわれている。



大山・御亭山中間の登城口
丘陵南裾の那谷川側から



御亭山主郭（見張櫓跡）



大山主郭（本丸跡）



大山・御亭山間の本陣跡



大山主郭を巡る横堀

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>